

第55回（2024年度）日本看護学会学術集会 ランチョンセミナー

テーマ

臨床試験の看護

～未来の医療を創る仲間への誘い～

演者 一 国立がん研究センター中央病院 中濱洋子 先生
座長 一 東京大学医科学研究所附属病院 藤原紀子 先生

要申込

定員200名

（定員に満たない場合は当日参加可）



共催 | 厚生労働省、岡山大学病院

会場 | 熊本城ホール 第6会場

日時 | 2024年9月27日 | 金 | 12:45～13:45

申込

右記QRコードから学術集会への
事前参加登録をお願いいたします。

事前参加登録締切：8月30日 | 金 |

*QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



テーマ 臨床試験の看護 ～未来の医療を創る仲間への誘い～

主催よりメッセージ

臨床試験・治験は、医療の発展のためには、不可欠です。
そして、新たな治療の確立や患者のQOLを向上するための臨床試験には、
医療スタッフと試験に参加する患者の協力があって実現されます。

みなさんは、なぜ、
臨床試験に看護が必要なのか、考えたことはありますか。

研究対象の多くは、他の患者と同様に、諸症状を有し、不安を抱え、
社会生活を送る看護を必要とする患者です。

看護師は、臨床試験に参加する患者の安全と、未来の患者のための
臨床試験の結果の質に大きな影響を与える部分に関わっています。
臨床試験看護の国際学会では、
臨床試験に参加する患者のケアと、看護の専門領域を紹介し、
治療開発における看護師の役割を重要視しています。

今年2月、内閣官房 健康・医療戦略室
「創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議」において、
はじめて「臨床研究/試験の看護」が言及されました。
また、令和4年度より厚生労働省 臨床研究総合促進事業では、
臨床試験にかかわる看護職の養成カリキュラムも提案されています。

そこで、看護師へ臨床試験の看護の必要性や適切な知識を広く普及するために、
「臨床試験の看護」に関するセミナーを開催することとしました。

ぜひ、ご参加いただければと思います。

